

米国トランプ大統領の歴史的快挙を賞賛する

1. トランプ大統領、あなたは、歴代大統領の中で歴史に残る決定を下しました。常にアメリカ国民の国益を考え、シリア撤退を宣言しました。これは歴史的快挙です。
2. あなたは、米兵の犠牲を払わずに、ISとの掃討作戦にクルド民族を使いました。実にすばらしい指導者です。
3. そもそも、タリバンやアルカイダのイスラーム過激主義者の軍事組織を拡大させたのは誰でしょうか？それは米国です。
4. イランでは、革命により、宗教指導体制となりました。
5. サウジアラビアでは、宗教規範の乱れから、イラン革命の影響を受けたサウジアラビア王族廃止運動が拡大しました。国内での革命運動を外に向け、ソ連のアフガニスタン侵攻を阻止するため、イスラーム原理主義者を支援し、ビンラディン率いるアルカイダに多大な支援をしました。
6. サウジアラビアと同盟国の米国は、アルカイダに軍事訓練を行い且つ武器支援をしました。
7. 冷戦時代、アフガニスタンの革命により王政が倒れ、ソ連が支援する共和政治となりました。アフガニスタンでは共和政治がうまく機能しませんでした。加えて、パキスタンとの境界線問題がおり、イスラーム系の支持者による、共和政治体制批判運動が起きました。
8. アフガニスタンでのイスラーム運動が、隣国のイスラーム系のソ連の衛星国に影響を与えないために、ソ連はアフガン侵攻を図りました。
9. 米国は、サウジアラビアと同盟国であり、米国の武器の輸入国でもあります。貴国は、サウジアラビア王家を助けるために、アルカイダに軍事指導を行なったのです。アフガニスタンでのタリバンが勢力を拡大したのは、サウジアラビアを助けるためです。この時、米国は、米軍を使わずにソ連に対抗しました。貴方の国は、絶対に友人の国を裏切りません
10. その後アフガン内戦が起り、政権を得たタリバンを排除するため貴国を含めて有志連合も多大な犠牲を払いました。
11. イラクのクエート侵攻による湾岸戦争も、ブッシュ大統領が決定した事ですから、貴方の責任ではありません。
12. イラク・フセイン打倒の旗印に起きたイラク戦争後、ISが拡大したのは、オバマ大統領やブッシュ、大統領、クリントン大統領時代の政策が原因ですから、貴方の責任ではありません。
13. 貴国の支援により、イラクでは、フセイン政権崩壊後、虐げられてきたシーア派が多数を占める議会が成立しました。
14. シア派政権は、前政権のスニ派を虐げた為に、フセイン政権時代に軍事経験のあるバース党の軍人がISにてこ入れをし、モスル奪還に成功しました。加えて、米国が輸出した最新鋭の武器も奪い支配地域を拡大しました。これも貴方の前のオバマ政権時代ですから貴方に責任はありません。



15. シリア・アサド政権打倒を旗印に、サウジアラビアをはじめとするスンニ派連合と同盟国の貴国も反アサド打倒のためにスンニ派のゲリラ組織を支援していました。結果、ISの拡大に繋がったのです。
16. イラクでも、最新の兵器も保有しない、クルド自治政府領内に、ISが侵攻しますが、地上戦では、見事に守り抜き、IS掃討作戦でも自らを犠牲にして大きな戦果を挙げました。この時、米軍支援の空爆支援が無ければ、危うい状況であったことは間違いありません。オバマ政権もクルド民族を助けたのです。しかし、貴方は、クルド民族に興味はありません。
17. 貴方の政権になり、予算を支払わないイラク中央政府に対抗しクルド自治政府は独立投票を行ないました。しかし、キルクークを管理していたクルド自治政府が、オイルを輸出すれば、石油価格が下がることを心配した貴方は、クルド自治政府の独立を認めませんでした。
18. 貴方が、大統領に就き、イラクでもシリアでも、IS掃討作戦は、ほぼ掃討できたので、貴方は、勝利宣言をしました。しかし、勝利したのは、自らを犠牲にしたクルド民族であり米国ではありません。貴方は、シリアやイラクから米軍を撤退させる為に、米国民に対し、米国が勝ったとアピールしなければならなかったのです。
19. 貴方は、アフガニスタンからも撤退したのです。何故なら、元はと言えば、ソ連がアフガニスタンに侵攻し、サウジアラビアの王政が危機に陥り、米国が巻き込まれたと考えているからです。
20. サウジアラビアに駐留する米軍を撤退させる為に、これまで支援してきたアルカイダが9.11テロ事件を起こしました。ロシアと同じように米国もイスラーム主義規範での統治を望まないと考えています。それに対抗するため、米国が支援してきたイスラーム原理主義者から逆に反撃されたのです。
21. アフガニスタンでは、米国や連合国は、多くの犠牲を払ってきました。米国民だけでなく、世界各国は、米国がこの問題を解決できないばかりか、莫大な予算を費やしていることを知っています。
22. 今、米国は、自国のシェールガス採掘により、中東の石油依存から解放されました。貴方が、石油を輸入するより輸出をしようとするのは当然です。貴方は、米国経済しか考えていけないのです。貴方は、シェールガス、オイルが50ドルの原価が割れないように、世界の石油価格を心配されていることでしょう。
23. いつの間にか、シリアでは、打倒アサド政権から、世界に脅威を振るうIS掃討作戦に変化し、貴方は、ロシアに後押しされるアサド政権崩壊を諦めました。何故なら、石油の中東依存から脱した貴方は、中東情勢など関心はありません。
24. 貴方は、国内経済重視の大統領として、安定しない中東原油より安定した米国のシェールオイル、ガスを、大西洋を通じてEU各国に売りたいと考えたはずです。



25. ヤルタ・ポツダム会談では、チャーチル、スターリン、ルーズベルトが戦後支配を話し合いました。

貴方は、ルーズベルト大統領とは違い、ソ連のコミンテルンに利用され、国民を裏切ってまで、戦争をしようとはしていません。

26. 貴方は、ロシアのプーチン大統領と仲良くし、用なしの中東を見捨てて、ロシアに中東各国の原油管理をさせるだけでなく、OPECを崩壊させ、米ロ、石油協定同盟を築きたいと考えています。

貴方の考え方は、もし、中東に内戦が起きたら、陸続きのロシアに解決させる。

今度はロシアを利用しようとしているのではないのでしょうか。

まさに、米露世界分割です。

27. ウクライナ問題も貴方にとっては、他人事でしょう。

ロシアと仲良くし、西側の責任を放棄したいと考えている貴方はEUに任せればよいと考えているのでしょうか。

何故なら、米国は、常に経済制裁以外他力本願だからです。

28. 歴史的に観れば、第一次大戦後にイギリス、フランス、ロシア、のサイクスピコ協定により中東が分断されたことがISのプロパガンダとなり組織拡大に繋がったのです。

貴方は、中東の混乱は、米国の責任ではないと言いたいのでしょうか。

29. 貴方が、中東問題に関しては、イギリス、フランス、ロシアが、責任を持つべきだと考えるのは当然です。

何故なら、サイクスピコ協定を行なったのは彼等だからです。

30. 貴方は、経済人として、米国の指導者として、何故、米国や米国民が犠牲を払い、費用を負担し、中東問題に介入しなければならないのかと考えています。

31. 貴方は、大統領として、経済重視をするのは当然です。

貴方は、人の国の土地も金を払えば、買えると考えています。不動産業で成功した貴方なら当然の考え方です。

人の土地がほしければ、戦争などしなくて、金で解決しろ。と考えているのでしょうか。

32. 国の取引も商売です。損をする国とは付き合わない。損をする人間とは付き合わない。成功者の論理です。

33. 貴方が、何のメリットも無く、損をする国や民族とは付き合わないのも当然です。

34. 米国は、世界一の軍事産業国です。

戦争して勝ちたければ、武器を買え、いつでも売ってやる。ただし、米国は、関与しない。米国は、犠牲も出さずに儲かる。貴方の考えは、間違っていない。貴方は、米国が、損をしてまで、世界の警察になる必要はないとお考えでしょう。

35. 自分の喧嘩は、自分で処理しろ。これも当然の考えです。負ける奴が悪いと貴方は考えるでしょう。

36. 貴方は、ロシア、イラン、トルコにも北朝鮮にも経済制裁をし、中国とは、貿易戦争をしています。経済制裁は、もう一つの経済戦争です。しかし貴方は、ロシアに対する一部経済制裁を解除しました。何故なら、プーチン大統領は、貴方の親友です。



37. 貴方は、経済制裁で、イランやトルコ、北朝鮮を窮地に立たせれば、国民運動がおき、独裁政権は崩壊すると考えたのでしょうか。戦わずして勝つ、が貴方の戦法です。

38. ドルは、世界の基軸通貨です。貴方は、ドルが無ければ、貿易も出来ないと考えたと思います。米国は、ドルの発行国です。

第二次世界大戦後、基軸通貨は、英国のポンドから、ドルに移行しました。

世界一の軍事大国であり、経済大国ですから当然です。

39. 先の大戦において、戦場にならなかったのは、米国本土だけです。

アジア各国も日本も英国、欧州も戦場になりました。戦場とならなかった米国の産業界は、世界で唯一被害がなかったのです。それ故、英国のポンドに替わり米国のドルが基軸通貨になったのです。

貴方は、米国本土が戦場にならなければいいのです。

金さえあればいいのです。金持ち喧嘩せず。この理論を全うしています。

40. トルコでは、スパイ容疑で、米国の牧師が反政府活動容疑により拘束されました。貴方は、米国大統領です。米国民を守る義務があります。

貴方は、米国牧師解放やISと手を組んでいるエルドアン大統領を倒す為に、経済制裁を仕掛けます。

貴方の政策は、成功し、エルドアン大統領は、国内でも追い込まれました。

41. 窮地に立たされたエルドアン大統領は、同じ経済制裁を受けているイランやロシアと手を組めばいいと考えました。

そこで三者が手を組みました。

貴方は、この三国に、中国が参加したならば、アジア、ユーラシア大陸で新たな経済圏が築かれるだろうと考えました。

そうすると、米国のドルの覇権はなくなり、経済制裁も出来なくなると考えるのは無理もありません。新たな金融システムが一带一路で構築されれば、基軸通貨のドルは崩壊します。

42. 貴方は、米国の大統領として、トルコ政府を経済的に追い込めば、政権崩壊をさせられると考えました。


しかし、エルドアン大統領がロシアやイランと手を組むのを見て、経済制裁という戦法は、逆に反米同盟を築かせることに気づきました。

そこで、貴方は、エルドアン大統領に対して経済制裁の妥協をし、クルド人居住地域の北シリア侵攻を認めたのです。

43. トルコは、欧州にとっての工場です。また、トルコは、移民を受け入れるだけでなく、中東、ロシアから石油を輸入するために通過する欧州にとっても経済的に重要な国です。

44. トルコが経済制裁に耐えることができたのも、EUとの貿易があるからです。ドイツはトルコに武器を輸出しています。トルコは更にアフリカ地域に対して転売しています。今回のシリア侵攻にもこの武器が使われました。経済制裁の意味がありません。貴方は、脅すだけの経済制裁に意味が無いことが解ったのです。



- 
- A close-up photograph of Donald Trump's face, wearing a dark suit, white shirt, and blue tie. He has a small American flag sticker on his forehead. The background is dark and out of focus.
45. 貴方と同じく、英国もEU各国も、トルコがISの拠点となっているのは皆知っています。
エルドアン大統領が、ISやイスラーム原理主義者を擁護しているのも事実です。何故なら、彼は、オスマン帝国を築きたいのです。
ISは、米国とトルコにとっては、アサド政権打倒作戦に必要な友人だったのです。
46. 貴方は、PKKよりもISの方が信じられるのです。
47. 国を持たないクルド民族は、貴方にとっては、交渉相手国ではありません。
貴方は、国を持たない民族を相手にする気はありません。
48. 貴方は、選挙も近くなり、公約を守っていると国民にアピールしなければなりません。
貴方は、反対する側近を退けシリアから撤兵する決断をしました。自分を守るため、選挙に勝つためには仕方ありません。
49. 貴方は、世界最強の米国大統領です。米国株式会社の株主代表である貴方の意見は絶対です。
あなたは、他の会社が潰れようとも、他の国が潰れようとも、他の民族が犠牲になっても米国民に損はさせられないのです。
50. 米国民は、他民族が犠牲になっても米国民が犠牲にならないで済めば、例え、世界から米国が信用をなくしたとしても貴方に感謝するでしょう。
51. 貴方は、国連が機能していないことを知っています。
例え、国連において、米国が影響力をなくしても、貧国や国連貴族に予算を使われずに済みます。
52. 反米勢力であるロシア、中国、イランが一带一路で繋がり、中東は、ロシアを中心に纏まれば、彼等もドルの呪縛から逃れられ、平和が訪れます。
経済制裁を受けない反米勢力は、皆喜び感謝するでしょう。グローバル企業もドルを基軸通貨として使用せず、世界金融社会は、画期的経済圏が出来ると喜ぶことでしょう。あなたは、反米各国と自己利益だけを求めるグローバル企業と仲良くしたいのです。
53. 貴方は、米国を世界の警察から解放した唯一の平和主義者です。
反米各国の国々に独裁権限を与えた唯一の偉大なる指導者です。
貴方は、利益にならないことはしない、脅しが効かなければ諦めると世界に示したのです。

USA First!! Go! Trump!!

令和元年 作成：木下顕伸